

たいない

議会だより

No.90

令和8年8月31日
(2026年)

【題字】石山 心珀 さん
いしやま こはく

村松浜在住の佐藤さんファミリー
左から

紬(つむぎ)さん 6歳(小1)

楓(かえで)さん 10歳(小4)

颯(はやて)さん 8歳(小2)



市民と議会の意見交換会	2～3ページ
一般質問(9人)	4～12ページ
常任委員会審査・議決結果	13～14ページ
閉会中所管事務調査報告・議場コンサート	15ページ
委員会視察報告	16ページ
令和7年度政務活動費収支結果報告	17ページ

胎内市議会

インスタグラム



フェイスブック



ホームページ





5月24日、市役所本庁舎において、テーマ別に午前と午後を開催し、延べ26人にご参加いただきました。意見交換会の詳細は専用コードからもご覧いただけます。いただいたご意見は、議会活動を通じて、課題解決に取り組んでいきます。



参加者

近年の豪雨により側溝から水が溢れ出すなど、排水能力の不足を感じています。若松町などは地形的に低く、すぐに冠水してしまうため、改善できないでしょうか。

若松町については、ポンプの処理能力の向上や升の改善を行っています。他方で、最近は新栄町交差点なども被害が出ていますが、既に設計まで完了し、今年度から工事に着手する予定です。



議員



参加者

高齢者の医療費を増やさないためにサロンを生かして健康を増進させ、医者にかからないようにできないでしょうか。

現在、市内にはサロンや通いの場が集落ごとに整備されており、健伸館のように誰でも利用できる施設も存在します。これらを活用したことで、健康増進や医療費の抑制、さらには介護認定率の低下といった成果も表れてきています。



議員



参加者

最近は気温が高くなっているので、学校の体育館にエアコンを設置していただけないでしょうか。生徒の熱中症対策になるし、また、災害時は市民の避難所としても重要になるはずです。

エアコン設置について議会でも一般質問などで取り上げてきました。教育委員会では先進地視察を行い、今年は小学校体育館の基本設計を進める見通しとなっています。



議員



参加者

熊が民家に下りてこないような対策が必要ではないでしょうか。

刈払いを実施しているほか、令和8年度からは熊の誘因物となる柿の木などの伐採に対する補助制度を新たに開始し、対策を強化しております。



議員

その他主な意見

他市のように、移動投票所や出張投票所、もしくは、バリアフリーの投票所があると嬉しいし、そのような投票所を設けてもらえないか。

生涯学習施設の建設地に決定した「嘉平山」の現地確認を事務局に問い合わせたが、危険だとして断られた。市民が現地を見たいと言った際に、見せてもらえるようにして欲しい。

3人の子どもが市外の高校に通っているため、毎日中条駅へ送迎している。帰りはバラバラで何度も迎えに行かなければならないので、バスがあると助かる。

旧黒川体育館が解体され、黒川地区では屋内スポーツができるところがなくなった。健康増進の観点から体育施設を考えてほしい。

「NPO 法人ふるさと奥山の荘」で要支援の方を対象に移動支援をしている。運行範囲が市内限定のため、坂町病院への送迎ができない。利用者からは送迎を望む声が寄せられている。

観光振興を図るには、各施設が目標とする人数、売上金額などはっきりとした目標値をもって取り組むことが必要だと思う。

兼業農家だが、農業資材代が高く燃料代も上昇気味でこの先の見通しが立たない。

使っていない畑がかなりの面積で存在し、管理されていない。借りようにも誰の名義か分からない。

市内の緑化推進をしてほしい。新たな生涯学習施設にも緑化環境を整えてほしい。

参加者の声

- 議員の方々と話す機会がないので、いろいろと他地区の状況を知りたい機会になりました。「意見交換会」を身近なものとして、参加者が増えればもっといい会になると思いました。
- 90分では時間が足りなかった。
- 毎回、今回と同様の内容で良いと思う。もっと大勢の参加があればいいと思う。
- いろいろな話を聞くことができ、とても参考になりました。
- 自分の伝えたいことが言えて良かった。
- 今回のテーマをベースに、時代に沿った内容をお願いします。
- 参加者が少ないことが残念でした。



不登校児童生徒への支援について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。



羽田野 孝子 議員

議員 日本共産党胎内市委員会
が実施した、市民アンケートで、「不登校の孫がいます。きめの細かい支援を希望します」とあった。重く受け止め再度質問する。不登校児童生徒数と対応は。

教育長 令和7年度末の不登校児童生徒数は、小学校19人、中学校45人である。支援については、教職員が定期的に家庭訪問を行うことを基本としている。

議員 中学校の修学旅行で教師の対応に不信感をもち、悩み不登校になったと聞いた。教師には誰からも納得のいくしっかりした対応をしてもら

いたい。
教育長 納得できないところがあれば話し合いを持つなどして、全力を尽くしていく。



胎内市適応指導教室さわやかルーム

学校給食の地元野菜の使用促進について

議員 令和7年3月に、学校給食に地元野菜を使ってほしいと質問したが、農家から野菜を使ってもらえていると聞いた。現在の利用状況は。

教育長 令和7年度末時点の地場産物の割合は、品目数で11.2%、金額ベースで約10.4%と

なっており前年度比較では品目数で5.6%、金額ベースでは約6%増加している。

議員 調達する際の仕組みは。

教育長 市内青果物組合等からの調達が主だが、JA北新潟と生産者との調整により、昨年9月以降胎内市給食センターからJA北新潟へも発注できる状況となった。



野菜畑

公共交通について

議員 市民アンケートや市民と議会の意見交換会で、「のれんす号で新発田病院へ行けないか」「コミュニティ巡回バスは考えられないか」の要望が出された。公共交通の現状と今後の考えは。

市長 のれんす号の利用者数は、令和6年度は4万6千881人、令和7年度は4万5千709人の推移をたどっている。新発田病院利用者は限られている人数で考えていない。ライドシェアの利用状況は、令和7年10月から3月までの実証期間中の運行回数は延べ333回、4月から5月末までで延べ92回であり導入目的は達成しつつある。コミュニティ巡回バスは庁内プロジェクトチームを発足し、検討を始めている。

自治会運営の課題と地域コミュニケーションについて



渡辺 栄六 議員

議員 自治会役員の負担軽減に向け、どのような支援を行っているか。また、役員業務の簡素化やデジタル化支援など、持続可能な自治会運営に向けた取組みを進める考えはあるか。

市長 令和7年度に創設した自治会活動応援型の補助金は地域活動を促進する目的としているので、活用していただきたい。また、自治会相談窓口等で自治会業務の簡素化やデジタル化に関することなど有効となりうる事例等の情報収集に努めていきたい

議員 広報誌や回覧板について、デジタル配信や希望制の

移行など、見直しを検討する考えはないか。

市長 当面は現状どおり紙媒体と電子媒体を併用し、将来的には電子媒体を中心とし、紙媒体は希望制とする形への移行も検討していきたい。

次年度 役員・班長



市営墓地の今後の在り方について

議員 墓じまいの増加や継承者不足といった社会変化を踏まえ、合同墓や永代供養墓など多様な埋葬ニーズへの対応について伺う。

市長 現在市内に寺院等が管理する永代供養墓や合同墓も

あることから、今後、寺院等との意見交換等を行いながら、市民ニーズの変化をとらえ、対応していく。

議員 駐車場不足が課題となっている塩沢霊園について、利用者の利便性向上や安全確保の観点から、駐車場整備や交通対策をどのように考えているのか。

市長 現在5台程度の駐車スペースが確保されているが、地域や利用者の要望を伺いながら対応していく。

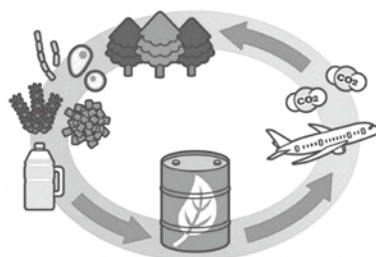


市営塩沢霊園

ゴミの減量化と

廃食油の活用について

議員 家庭系廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料や航空燃料などへ再資源化する資源循環施策として推進する考えはないか。



市長 今後他市町村の動向や先進事例、民間事業者との連携などを研究検討し、実施環境が整うようであれば回収に取組んでいきたい。

人口減少化における街づくりと将来像について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。



渡邊 雅茂 議員

議員 人口減少が進んでも安心して暮らしていける為の手法に※1スマートシユリンクや

※2コンパクトシティといった考え方がありますが市長はどのように考えているか。

市長 スマートシユリンクやコンパクトシティなどの視点は大切であり、それを意識して物事を行いつつ、その一方で中心部から離れた地域であつても住み慣れた所に留まりたい考えの方もあり、相互に合意形成が図られた先に方向性を見出していけると考えている。

議員 人口減少に伴い過去に整備された広大なインフラの

維持管理が財政を圧迫すると考えられるが将来の見通しをどのように考えているか。

市長 胎内市公共施設等総合管理計画で策定した通りインフラの利用状況に応じた廃止・縮小、上下水道の広域化・統合を進めていかなければならないし、健全な財政運営にも努めていかなければならない。

議員 人口ビジョンでは、2045年には29%減少するとされているが、受け止めは。

市長 かなり現実に近い数字であると認識している。20年後には65歳以上の方々が4割となりそこを見据えて物事を進めていかなければならない。高齢化に加え、核家族化の進行によつて高齢者のみの世帯、高齢者の一人暮らし世帯においても、介護・福祉サービスの充実など将来を見据えて対応していく必要がある。



将来を見据えた街づくり

縦割り打破と

新組織創設について

議員 縦割り打破と新組織の提案について、街づくりの課題は一課の業務に留まらず垣根を超えた市長直轄の組織を新設してはどうか。

市長 必要に応じたプロジェクトチームの設置や、二つの課をまたがっていたものを一括りにする組織の改編も柔軟に行っている。その中で直轄の組織なども今後も常に意識はしておく事柄と捉えている。

議員 単年度予算や短期の計画、国や県との調整に追われ未来に視点を向けることが後手に回っていないか。

市長 様々な行政課題の中で緊急や定例にやらねばならないこともある。しかし、将来を見据え何を考え継続して変えていかなければいけないことを俯瞰して、自分自身リーダーシップを発揮しつつ、職員一丸となつて考えていく。

※1スマートシユリンク

人口減少に合わせて、拡大しすぎた都市空間を適正化し集約・縮小を図ること。

※2コンパクトシティ

住宅や病院、商業施設などの生活機能を一定のエリアに集約させること。

部活動地域展開について



議員 寛 智也

議員 現在の中学校部活動での部員数はどの程度か。

教育長 全体の約6割の生徒が部活動に参加している。

議員 先に頂いた資料では運動部の割合が全生徒数の5割を切っている。胎内市はスポーツ都市宣言をしている中、スポーツ人口減少が課題と考えるが対策は。

教育長 学校ごとに「一学校一取組」という運動能力を向上させるための取組みを行っている。またスポーツイベントやスポーツ少年団のチラシを配布したり、大人への働き掛けをするなど努めている。

議員 部活動や地域展開にお

いて、困窮家庭の8割が参加費等を負担に感じているというデータがあるが、市の参加費等の対応はどうなっているか。

学校教育課長 スポーツ教室代表者等と協議して、保護者負担に配慮しながら決定している。経済的な理由で参加費等の負担が困難と認められる困窮家庭については、令和8年度より就学援助の対象としている。

議員 安全管理について、活動場所が学校以外の場合の対応はどうなっているか。

教育長 多くは保護者等による送迎対応となっている。



議員 大会等に参加する際の、学校や保護者の負担はどうか。

学校教育課長 中学校体育連盟の大会については、交通費や宿泊費など地区大会で1/2、県大会で2/3、北信越や全国大会では全額を市で補助している。

議員 市の補助があるということは、移動の際は緑ナンバーの貸切バスを利用しているということでしょうか。

学校教育課長 地区大会など中学校体育連盟の大会では各学校が緑ナンバーバスを手配している。



緑ナンバーのバス

議員 地域展開されたスポーツ教室では指導者の確保はどのようにしているか。指導者の行き過ぎた指導や、不誠実な対応が全国的に聞かれるが市の対応は。

教育長 兼業兼職による市内公立学校の教職員と、市内の競技連盟などから選出された指導者が携わっている。委託先の「NPO法人スポーツクラブたいたい」でコンプライアンス研修を行っており、市では公認コーチ養成講習の受講費を助成している。

※その他の質問
豪雨被害対策について

防災・減災対策について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。



平井 孝 議員

議員 避難所での備蓄品の更新や設備の充実について伺う。

市長 災害備蓄計画に基づき必要量を確保し、食料品は計画的に更新している。

議員 要配慮者を想定した避難所運営訓練実施の予定は。

市長 乳幼児、高齢者、外国人、障がい者等の視点を取り入れた訓練の実施や受け入れマニュアルの整備等について検討する。

議員 ペット同行避難の受け入れ体制は。

市長 全指定避難所で可能であるがアレルギーを持つ方、動物が苦手な方等への配慮から一般避難スペースとは分けて受け入れる。

議員 防災アプリの普及状況と防災士育成の今後は。

市長 令和8年5月末現在、アプリ登録者は4千421件。防災士は195名が在籍している。今後もアプリ普及に努め、防災士育成の為に補助金制度や研修を継続し、地域防災力向上に努める。



ペット同行避難

インバウンド誘致と外国人との共生について

議員 市内在住の外国人住民と連携した観光PR、情報発信についての考えは。

市長 留学生等に協力してもらい、観光パンフレットや表示の翻訳作業、SNSによる情報発信を進めることに加え、各観光施設における多言語化、「やさしい日本語」の活用も検討する。

議員 インバウンド誘致実績と今後の方針、近隣自治体との連携の可能性は。

市長 インバウンド誘致実績は低調だが、観光需要の高い台湾や韓国を中心に、ゴルフやスキー等の自然を活かしたアクティビティと宿泊を組み合わせたプランを展開し、観光施設の稼働率を高めていきたい。また、新潟空港国際線の韓国線増便をチャンスと捉え、今後、新発田市、聖籠町に加え、関川村とも連携を進める予定である。

議員 外国にルーツを持つ児童、生徒に対しての日本語指導体制は。また「たいたい日本語教室」の指導ボランティア

ア数は学習者に対して十分か。

教育長 児童・生徒に対しては日本語指導員を配置し、週に2、4日、1日2時間程の指導を実施しており、今後も学校と連携しながら支援していく。また、指導ボランティア数は現状充足しており、今後も持続可能な運営と、やりがいや楽しさを感じられるような環境づくりに努めている。



ほ場整備事業について



坂上 隆夫 議員

までも要望してきている。国に対しては新発田地域耕地協議会から要望を行っており、引き続き、ほ場整備事業の財源を確実に確保し、迅速な事業遂行を図るよう要望していく。

黒川地区の観光の活性化について

議員 他のスキー場ではオフシーズンの利用やイベントの誘致を様々行っているが、胎内スキー場でもイベントを積極的に行的ってはどうか。

市長 当市のように標高が低く、周辺に集落がある環境の中でイベント開催は難しいと捉えているが、専門家や知見を有する方からの優良事例等を見定め、実績のある民間の方々が参画した形でふさわしい内容であれば、ホテル等と連携しながら進めていくことも有益であると捉えている。

とは認識している。しかし、ペット同伴を受け入れている宿泊施設は、ペット同伴客と一般客の棲み分けがしっかりとできている専門的な宿泊施設である。ロイヤル胎内パークホテルにおいて一般客とペット同伴客の共同利用を可能とするには、さまざまな配慮や諸々な対策が必要となることに加え、また一般客が離れてしまうことも懸念されることから、今のところ、現実的ではないと考える。



ほ場整備

議員 現在、市内の水田の何割がほ場整備が完了しているのか。また、中条、築地、乙、黒川の地区別での割合は。

市長 県から提供された令和6年度末時点での整備率は、約75%となっている。地区別の割合は、中条地区が約7割、築地地区が約8割、乙地区が約8割、黒川地区が約4割となっている。

議員 ほ場整備事業が予定より遅れているが、国、県などに早期着工の要望を行っているのか。

市長 県に対しては新発田地域振興局との行政情報交換会や阿賀北首長会を通じてこれ

議員 近年ペットと泊まれる施設が増えてきているが、ロイヤル胎内パークホテルのペットの受け入れ態勢は。

市長 近年の社会動向としてペット同伴を可能とする観光施設の需要が高まっているこ



ロイヤル胎内パークホテル

公共交通機関運営について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。



佐藤 武志 議員

議員 毎年、運転免許証の早期自主返納者がいる。

令和5年に113名、令和6年に96名、令和7年に同じく96名、令和8年の5月末現在で13名の返納者がいる。平成23年から令和8年の16年間で1千193名の自主返納者がいる。この数字はデマンドタクシー券の交付を受けた人数である。平成21年の議会において、早期返納者にデマンドタクシー無料利用が出来ないかを提案し、実現されたものだが今後、市民の足となる新たな公共交通機関を考えられないか同う。

市長 既に、春からその必要

性を感じ、庁内のプロジェクトチームにより求められる公共交通の実現に向けて検討を進めている。



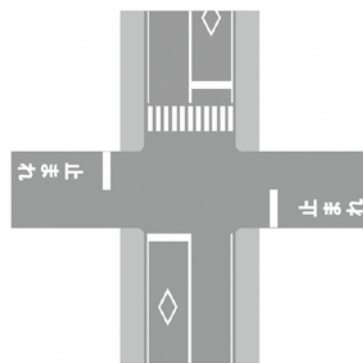
免許証とデマンド無料

市道の路面標示

について

議員 市道のセンターラインや停止線、横断歩道、また、文字表示が不鮮明なところ、確認できない箇所が見受けられる。初心運転者や通学者が、安全に通行できる市道となるよう、今後の対応について同う。

市長 停止線等の、路面標示について、当該調査の結果を基に令和7年度から3か年計画で補修等を行なっている。今後も、交通事故を未然に防ぐため、警察署と連携を取りながらスピーディーに対応していく。



横断歩道と道路文字表示

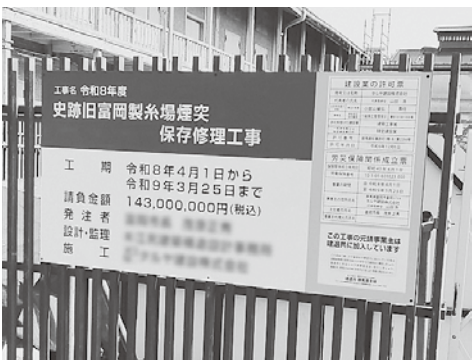
公共工事看板

について

議員 平成19年12月の質問で公共工事用看板に工事金額を表記することが叶えられた事案であるが、一時は工事金額が記載されたが、現在は看板に記載されていない状態であ

る。公共工事に対する透明性の確保や市民に対する説明責任の観点からも表記が適当と考える。今後、公共工事看板に工事金額を表記出来ないか同う。

市長 かつては契約金額の表示を行っていたが、建設業者などから要望があり、意見聴取を行った結果、平成24年4月から表示を取りやめた。契約金額は、胎内市ホームページと本庁舎の設計図書閲覧所で契約金額を公表しており、だれでも閲覧できるようにしている。



公共工事看板 実例写真

新たな産業の創出



森本 将司 議員

議員 近年、AI産業の成長が著しいことからデータセンター需要が高まっている。膨大な電力と冷却用水が必要であることから地価や人件費の安い地方への建設が注目されている。漠然とした誘致ではなくAIデータセンターに特化した取組の考えは。

市長 データセンターに特化してということではないが、今後の需要増加を見込みながら、先進地の例をリサーチしつつ幅広く検討し、誘致を行っていく。

議員 令和11年までにAI産業は4兆円規模になると推計されており、国も集中的に投資するとしている。現在、経済産業省で「GX戦略地域制度」という事業を行っており、県内では聖籠町、柏崎市、小千谷市が手を挙げている。脱炭素エネルギーを活用した地域活性化を目的とした事業であるがデータセンターの集約も項目に含まれている。活用

の考えはあるか。

市長 データセンターが立地されるのであれば素晴らしいことなので、制度について学び、活用できる部分があれば



【AIデータセンター】

誘致の可能性を高めていきたい。

議員 日本風力発電協会の試算によれば洋上風力関連の人材は令和32年には4万8千500人必要とされ、風車のある秋田、長崎などではメンテナンス人材の育成機関が設置されている。当市では既に建設業従事者の育成機関があるが協力して設置する考えは。

市長 人材育成に係る取組みに限らず発電事業者と情報共有を図りながら、必要とされるサポートや働きかけを積極的にに行っていく。

議員 現在、メンテナンス関連の人材は4千人で必要数に足りておらず育成機関においても秋田以南の日本海側は空白地帯になっている。市単独でできるとは思っていないが国、県、発電事業者を巻き込んでできないものか。

市長 それが叶えば素晴らしいと思う。実現に至っていない

いが大学などで専門のコースを創設できないかという話はなされてきた。現在この地域で何人必要か見えておらず、今後事業が進む中で動きが加速していくと思う。地の利を活かしてのメリットもあることから情報収集をして誘致その他関わりを持っていきたいと思う。



※その他の質問

熊害対策について

高齢者単身世帯に対する

施策について

町内・集落案内看板の更新・新設について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。



丸山 孝博 議員

議員 市内を回ると、各町内・集落の案内看板が見えにくくなっていたり、腐食しているものが目立つが、市長はどう認識しているのか。「取り替えるお金もないのか」と思われ、市としてのイメージがとても悪く感じる。計画的に更新・新設して分かりやすくすべきではないか。

市長 市としては案内看板について、各自治会等から新設や補修の要望があった場合や職員が市内巡回や業務移動中に破損や劣化を確認した際に、順次対応している。しかし、いただいた資料によると火を見るより明らかな状況

で、順次計画的にわかりやすい目印になるよう、できるだけ早期の入れ替え、表示板の新設・更新等に努めていきたい。



町内・集落案内看板

物価高騰・資材不足の対策について

議員 中東情勢の悪化による営業や暮らしに対する影響について、当市の実態をどう認識しているのか伺う。ナフサ不足などで死活問題になっている業者等に対し、市としての支援策は考えているのか。

市長 影響については、本市においても全国的に報道されている状況と同様の状況にあ

ると考えている。支援策については、今後国及び県が示す施策に呼応する形で進めていかなければならないと認識している。なお、国の補正予算で措置された臨時交付金の本市への交付額が約1千500万円と示された。

議員 今回、1千500万円程度ということだが、いつぐらいにどういうところに配分するかと考えているのか。

市長 いったい何に使ってほしいのか目的が全く分からない。そんな中でも本当に困っている方々に重きを置いて交付させていただく。

県立坂町病院に産婦人科を誘致することについて

議員 市内に分娩を扱う医療機関がなくなって数十年になる。住民も自治体も産科医師が身近に存在し、必要なときにいつでも受診できることを

望んでいる。村上市、関川村、と連携し、県立坂町病院に産婦人科を誘致、開設するよう県に強く働きかけるべきでないか。

市長 坂町病院活性化協議会等で、かつて県に要望したものの、医療資源全般にわたって考察してみるとこれは致し方ない。



県立坂町病院

総務文教常任委員会

職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例

旅費法や県の旅費条例の改正に準拠し、主に、宿泊費を上限付き実費支給とすることや、日を廃止した上で宿泊に伴う諸雑費に充てる宿泊手当を設けるほか、旅行者に対する旅費の支給に代えて旅行代理店に直接支払うことができるよう改正を行うもの。

質問 現行制度の課題と、改正による改善や効果は。

答弁 現状は宿泊費について定額であったため、物価高騰やインバウンドの影響で宿泊費用が高騰しており、宿探しが大変であった。改正により上限付きで実費精算できることで出張しやすくなると認識している。

質問 改正後の旅費支出額は年間での程度増減するか。

答弁 年額で計算した場合、60万円程増額になると見込んで

いる。

質問 現行制度で職員が自己負担するケースはあったか。

答弁 現行制度では定額のほかに日当が支払われるため、その範囲で概ね賄えていたと考えられる。

付託された他3件の内、請願1件については、審査直前に請願者から取下げの申し出があり、それを承認し審査を取りやめた。
他2件については可決すべきと決定した。



厚生環境常任委員会

長寿顕彰条例の一部を改正する条例

昨年度から事業を開始した敬老祝いクーポン券の配布事業が、長寿顕彰の目的と合致していることから本条例に組み入れ一本化するもの。これまでの88歳、100歳に加え、77歳、90歳、99歳及び顕彰の内容を加えている。施行日は、本条例で被顕彰者決定の基準日としている9月1日となる。

質問 昨年、顕彰した人数と、今回77歳、90歳、99歳と追加されることによってどれぐらいの予算になるのか。

答弁 昨年度のクーポン対象者、77歳、90歳、99歳の合計で704人。令和8年度は、800人で想定しているので、約240万円が予算計上される。

質問 100歳は5万円のお祝い金で、それ以外は、品物になっているが、区別して分けているの

はどういうわけか。

答弁 これまでも、100歳への顕彰は人生の大きな節目としていたため、今回も現金で贈呈とさせていただきます。

付託された他3件についても可決すべきと決定した。



常任委員会審査

まちづくり常任委員会

地域産業振興事業特別会計補正予算

「胎内高原ミネラルハウス」の製造室内の空調設備が故障したため、設備更新費用として歳出に930万円を増額するもの。

質問 930万円は適正な価格か。

答弁 室内床置き型の業務用エアコン1基であり、48畳から60畳に対応する。また既存設備の撤去も含まれた料金であるため930万円となった。

質問 第二工場の設備も故障しているようだが修繕の計画はあるのか。

答弁 成型機の更新工事と設備の修繕費用を把握し、販売計画や営業体制等に市が関わりながら取り組んでいる。6月下旬を目途に取りまとめ検討する。

質問 第一工場と第二工場の位置づけがはっきりしない。第二工場の修繕は委託業者がどこまで負担するのか。

答弁 第一工場は市の施設であり整備も市で行う。第二工場は「胎内高原ハウス株式会社」が自己資金で整備したものである。しかし市の出資比率が51%であるため、第二工場の運営も関わっている。

質問 市は51%の株主なので、双方がお互いにどうあるべきかを真剣に考え互いに納得した上で運営すべきでないか。

答弁 様々な手法を今計画している。「胎内高原ハウス株式会社」とともに進めていく。

付託された他6件についても可決すべきと決定した。

令和8年 第2回定例会議決結果

全会一致で可決された議案

令和7年度補正予算	条例の一部改正
・一般会計補正予算（第14号）【専決】	・税条例の一部を改正する条例【専決】
令和8年度補正予算	・国民健康保険税条例の一部を改正する条例【専決】
・一般会計補正予算（第1号）	・監査委員条例等の一部を改正する条例
・国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	・職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例
・介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
・地域産業振興事業特別会計補正予算（第1号）	・高齢者健康増進ふれあい施設条例及びサンセット中条条例の一部を改正する条例
・公共下水道事業会計補正予算（第1号）	・長寿顕彰条例の一部を改正する条例
・農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	・印鑑条例の一部を改正する条例
・水道事業会計補正予算（第1号）	・胎内フィッシングパーク及び胎内ボート場条例の一部を改正する条例
・簡易水道事業会計補正予算（第1号）	
・一般会計補正予算（第2号）	
その他	
・工事請負契約の締結について	
・動産の取得について	

※上記議案は全会一致で可決されたため、議決賛否表を省略。

※請願第1号「皇室の伝統に基づく安定的皇位継承の国会論議促進を求める請願」は、請願者から取下げの申し出があったため、その取下げを本会議で承認。

閉会中所管事務調査報告

総務文教常任委員会

4月21日に、地域おこし協力隊との意見交換を行い、その後、総合グラウンド多目的運動場について調査した。

地域おこし協力隊との意見交換
活躍中の地域おこし協力隊5名と、実績と今後の活動に関する考えについて意見交換を行った。

任期3年で結果を出すことは難しいようで、目的達成のロングスパン化を考慮して、任期終了後も地域やミッションに関わりたいという声が多かった。

以前から多かった山間地域で活動する隊員に加え、市内全域で活動する隊員や、学生の移動範囲を中心に活動する隊員などがあり、今後の隊員誘致への選択肢増を考えると、とても良いことと感じた。

今後もミッション達成に向け尽力されることを期待したい。

総合グラウンド多目的運動場

今年度から供用開始となった多目的運動場は、「スケートボー



総合グラウンド多目的運動場

ドができる場所を整備してほしい」といった要望が寄せられていたことから整備が行われた。視察した日にも学校帰りの中学生が複数人利用しており、感想を聞くと「自由に使える場所ができてうれしい」とのことであつた。

多くの市民に利用される場となることを願う。

議場 コンサート 歌声がつなく 市民と議会

2月20日

2月20日、令和8年第1回定例会の開会に先立ち、議場で音楽を楽しむ4回目の「議場コンサート」を開催しました。出演いただいたのは、新潟食料農業大学の「NAFU軽音楽サークルS」のメンバー2人で、普段は大学内でのライブや、市内の「チューリップフェスティバル」など地域に密着した活動を展開しています。

コンサートでは、「歌うたいのバラッド」と「明日はきっといい日になる」の計2曲が披露され、市民や議員から温かな拍手が送られました。

演奏の合間にメンバーは、「今後も地域のイベントに積極的に参加したい」と意欲を見せました。



委員会視察報告

厚生環境常任委員会

◇視察日／5月21日

◇視察先／岩手県釜石市

「在宅医療と介護の連携を

推進するチームかまいし」

2011年3月の東日本大震災被害時に即、釜石市災害対策本部医療班が設置され、行政と医師会等が毎日17時にミーティングを行った。その素地の上に、翌年厚生省モデル事業を受け、地域包括ケア連携拠点「チームかまいし」を設置した。医師と市職員で連携コーディネート配置し、日常の療養支援、スムーズな入退院支援、急変時の対応、本人が望む場所での看取りの充実を目指し、活躍していた。

◇視察日／5月22日

◇視察先／秋田県藤里町

「ひきこもり支援」

2010年引きこもり者及び障がい者支援事業として、福祉の拠点「こみっと」を開設し、同意を得たひきこもり113人に、

こんなことをしていますよ、参加しませんかと情報提供訪問を継続して実施した。魅力ある就労訓練・就業体験プログラム等を実施し、5年間たないうちにひきこもり者がいなくなつた。新たに2015年からプラチナバンク事業を展開し町民だれもが生涯現役を目指すまちづくりに取り組んでいた。



ひきこもり支援について

◇視察日／5月25日

◇視察先／埼玉県深谷市

「深谷テラスパークについて」

深谷テラスパークは、市の農業と観光の魅力を発信する場として令和4年5月に開業し利用者は年間30万人を超える。

ふかや花園駅周辺で、関越自動車道花園ICも近くアクセスが良い。大型遊具や水遊び用の池、野菜の収穫体験やレストラン、大規模アウトレットモールなどがあり、視察時には多くの老若男女が利用しているのを目にし、プロジェクトが成功していると感じた、今後の参考にしたい。

◇視察日／5月26日

◇視察先／群馬県草津町

「スキー場のグリーン

シーズンの活用について」

平成30年に本白根山が噴火、スキー場全体の約半分が利用不可能となった。冬期間だけでは運営不可能と判断、通年運営型

まちづくり常任委員会

の山岳リゾートに舵をきった。平成30年にジップラインを整備したのははじめ、ゴンドラ、大型ブランコ、展望レストラン、展望テラス、センターハウスを整備した。観光客の中心層は日本人の20代、30代、若い層をターゲットにし「映える」を発信。町も観光政策を強く推進し入込客数が直近で400万人を超え、町の収益である施設使用料は約4億4千万円／年である。町もこれを観光に再投資している。とても良いモデルケースであり参考にすべきと感じた。



草津温泉スキー場

令和7年度 政務活動費収支結果報告

令和7年4月～令和8年3月

◇会派別政務活動費収支結果

会派名 項 目	緑風会	政和会	日本共産党 胎内市議団	公明党	真政会	胎政会
収 入	552,000	336,000	144,000	72,000	36,000	48,000
調査研究費	408,000	240,650		60,161		
研 修 費					36,780	
広 報 費			174,895			
支 広 聴 費			1,500			
要望・陳情活動費						
会 議 費						
出 資料作成費				12,110		8,043
資料購入費	14,256					
人 件 費						
事 務 所 費						
会 長	渡辺 宏行	天木 義人	丸山 孝博	渡辺 栄六	渡辺秀敏※	佐藤 武志
副 会 長	坂上 清一	森本 将司	羽田野孝子			
幹 事 長	寛 智也	坂上 隆夫				
員 会 計	増子 達也	小野 徳重				
会 員	八幡 元弘	渡邊 雅茂				
名 会 員	平井 孝					
会 員	薄田 智※					

※薄田 智：令和7年5月31日付けで議員辞職

(単位：円)

※渡辺秀敏：令和7年10月1日付けで緑風会から真政会へ所属変更

◇議員別政務活動費収支結果

氏 名 項 目	森本 将司 (政和会)	平井 孝 (緑風会)	渡邊 雅茂 (政和会)	増子 達也 (緑風会)	寛 智也 (緑風会)	坂上 隆夫 (政和会)	羽田野孝子 (日本共産党胎内市議団)	佐藤 武志 (胎政会)	渡辺 秀敏 (真政会)
収 入	48,000	32,000	32,000	48,000	48,000	48,000	48,000	32,000	48,000
調査研究費	32,209		17,820				31,200	8,375	34,320
研 修 費									
広 報 費				49,500	92,710	90,170			
支 広 聴 費									
要望・陳情活動費									
会 議 費									
出 資料作成費									
資料購入費		32,000	6,400				37,200		15,000
人 件 費									
事 務 所 費									

(単位：円)

氏 名 項 目	坂上 清一 (緑風会)	小野 徳重 (政和会)	渡辺 栄六 (公明党)	天木 義人 (政和会)	渡辺 宏行 (緑風会)	丸山 孝博 (日本共産党胎内市議団)	八幡 元弘 (緑風会)	薄田 智 (緑風会)
収 入	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000
調査研究費	28,564	50,542	33,660		45,413			
研 修 費								
広 報 費			11,835					
支 広 聴 費								
要望・陳情活動費								
会 議 費								
出 資料作成費			3,460					
資料購入費				57,600		48,000	57,600	
人 件 費								
事 務 所 費								

※収入から支出を差し引いた残額は、市へ返還します。

(単位：円)

「議会モニター」を募集します！

市民の皆さんに開かれた議会を推進するため、市民の立場から議会の運営や広報等にご意見をいただける方を募集します。

○応募資格

- ・18歳以上の市民で市議会の運営、市政に関心がある方
- ・国又は地方議員、公務員でないこと

○募集人数

12人

○活動内容

- ・本会議、委員会を傍聴し、意見・提案を行う
- ・議会だより、ホームページ等に関する意見・提案を行う
- ・モニター会議に出席し意見交換を行う

○申込方法

応募用紙に必要事項を記入の上、9月18日(金)までに議会事務局へ提出してください。
応募用紙は、議会事務局で配布するほか、市議会ホームページからダウンロードできます。

問合せ／胎内市議会事務局 ☎43-6111(内線 1411)



表紙の

題字は

石山

心珀

作品です。

きのと小学校 6年

私が学校でがんばっていることは、あいさつです。気持ちの伝わるように相手の目を見て、進んであいさつをするようにしています。きのと小学校を、胎内市で一番あいさつの良い学校にしていきたいです。



表紙の写真

「胎内市の未来を担う子どもたち」

将来の夢は…

左から

紬(つむぎ)さん 小1
『保育園の先生』

楓(かえで)さん 小4
『保育園の先生』

颯(はやて)さん 小2
『サッカー選手』



意味 頭からすっぽり手ぬぐい等を被ること

市全域で使用

編集後記

この紙面を読む頃は、ワクワク・ドキドキお祭りで盛り上がっていることでしょう。
老若男女が楽しめるお祭りは、私も小さい頃から大好きです。
お囃子や華やかな山車、露天のお店、どれもこの季節になくてはなりません。議会だよりも皆様にとってなくてはならない広報誌になるよう努力してまいります。
(編集委員もワクワク・ドキドキ・汗汗、編集しております)

増子達也 記

議員表彰

市議会議員として、永年市政の振興に努められた功績により、全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から表彰された方を紹介します。

〈市議会議員

在職15年以上〉

天木 義人 氏



天木義人 議員